



緑区 地域福祉保健計画
地域福祉活動計画

みどりのわ・ささえ愛プラン

山下地区・地区別計画策定委員会
平成22年8月発行

山下地区・地区別計画策定委員会通信No.2



～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域包括支援センター、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。

～「地区別計画策定委員会」って？～

地域の主な福祉保健関係団体などからの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっていきます。山下地区は14名の委員で構成されています。

山下地区・地区別計画策定委員 (アイウエオ順 敬称略)

浅見 静代	石井 薫	井上 和子	○大槻 孝	小川 絵美
小澤 秀夫	片瀬 浩	川村 弘子	篠崎 恵子	鈴木 陽子
谷井 春夫	兵頭 洌	宮田 文夫	若林 直実	

(○印は委員長)

平成22年6月28日(月)19時～21時、山下地域交流センターで「第2回山下地区・地区別計画策定委員会」を開催しました。

今回は第1回委員会の検討の中で出された課題を解決するために、現在「山下地区ではどんな活動に取り組んでいるのか」を整理し、これから「山下地区で取り組みそうな活動」について話し合いました。委員会で話し合われた内容を、地域の皆さんも是非ご覧下さい！

山下地区の未来に向けた目標

通信No.1の5つの視点を、地域での「つながり」を基本に、議論しやすいよう4つ(つながり、情報、防犯・防災、その他)の視点にまとめて話し合いました。

- ① 近所どうし、あいさつで周りも自分もHappyに！
地域で声かけできる、顔の見える関係づくりができています。
- ② 地域で活動している団体や福祉施設との間で、横のつながりを大切にし、風通しのよい関係づくりができています。
- ③ 自治会等と福祉施設が連携して、災害時における高齢者等の避難が安全に行える体制ができています。
- ④ 性別や年齢、障がいの有無等を問わず、地域の誰もが活動や行事に参加しやすい場ができています。

山下地区で取り組めそうな活動

現在山下地区で取り組んでいる活動を整理し、これから山下地区で取り組めそうな活動について、「4つの視点」から話し合われた意見をまとめてみました。

1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

- ① あいさつに始まる声かけを、自分から周囲へ広げていくこと。
- ② 自治会対抗の体育祭、グランドゴルフ、少年野球・サッカーなどのスポーツ行事を通じた地域交流を広げていくこと。
- ③ 高齢者（グループホームを含む）等や子どもたちが、地域の活動と一緒に参加してもらう行事を増やしていくこと（男性の料理教室、カレーミーティング、恩田川堤防のごみ拾い等）。
- ④ 山下地区で活動している各種団体の活動をつなげるような会議の開催を検討すること。
- ⑤ 自治会の魅力やメリットを発信して、自治会加入者を増やし、活動の活性化を図っていくこと（自治会館にサロンを設置など）。

2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

- ① 民生委員や保健活動推進員、老人クラブなどが、訪問事業等を通じて、高齢者や子育て中の親等に対して地域の行事等の情報提供や参加の声かけを行うこと（昼食会、親子の広場等）。
- ② 地域の情報をマップなどでわかりやすく紹介すること（要援護者マップ、地場売りマップ等）。

3 「防犯・防災」で安心・安全なまちづくり

- ① 防災ささえあいカードの有効な活用方法を検討すること。
- ② 災害発生時の対応について、自治会と福祉施設等との連携について検討すること。
- ③ 防災訓練等を通じて、資機材の取扱方法等を日ごろから身につけること。

4 その他

- ① 高齢者等が集いやすい、送迎等の環境づくりを検討すること。

第3回の地区別計画策定委員会では、課題の解決のために「私たちが山下地区で具体的に取り組めることは何か？」など、素案の作成に向けて、さらに議論を深めていきたいと思っています。



みんなの力で山下地区をもっともっと
素敵な街にしていきたいと思います！！

<連絡先>

山下地区・地区別計画策定委員会
事務局 TEL：930-2282
（緑区 税務課担当課長 藤井）